

令和2年度 鶴岡市の予算

令和2年度の予算が決まりました。一般会計の総額は、前年度から9億9,700万円(1.4%)増加の740億8,400万円です。これまでで最も大きな予算額となりました。

第2次鶴岡市総合計画の実現に向けた施策を推進するために必要な未来創造のプロジェクトや、行財政改革などの取り組みを盛り込んだ予算編成となっています。

■問合せ 本所財政課 ☎25 - 2111内線649



今年度中の完成に向け建設が進む
ごみ焼却施設

予算の概要

一般会計は、平成17年度に現在の鶴岡市が発足してから最大の施設整備である「ごみ焼却施設整備事業」に係る費用が、前年度を約22億円上回ったこともあり、過去最高の予算額となりました。

歳入では、市民税や固定資産税の増収を見込み、市税全体で5・6%の増となる一方、合併特例期間の終了に伴う段階的縮減のため地方交付税で2・8%の減となっています。

一般会計の歳出を性質別に見ると、会計年度任用職員制度の施行により、臨時職員の賃金等が物件費から人件費に変わるため、人件費が8・8%の増。ごみ焼却施設と一般廃棄物最終処分場の整備費用

が約89億円となったこともあり、普通建設事業費で19・6%の増。平成25年度に発行した市場公募債の満期一括償還が終了したことから、公債費が9・3%の減となっています。

特別会計は、5会計を合わせて、前年度から1・3%の減となりました。

企業会計では、病院事業会計で高額医療機器の購入費や減価償却費が減少したことなどにより、前年度から2・5%の減となりました。

効果的で効率的な政策を展開

また、総合計画では「未来創造のプロジェクト」の取り組みを進めています。下図の7項目に関連する事業を、分野横断的に展開し、相乗効果を発揮できるように取り組んでいきます。

今年度はさらに、行財政改革の推進に向けた検討を進めながら、RPA(パソコン上での定型業務自動化)システムの効果検証を行い、業務遂行の一層の効率化を図ります。

地域の実情に合った政策や制度を検討・実施し、地域の振興と市民サービスの向上を図られるよう努めていきます。



若者・子育て世代応援

- 3歳～5歳の第3子以降の副食費を市独自で無償化
- インターンシップ対策セミナーを開催し若者の地元回帰を促進 等



全世代全対象型 地域包括ケア推進

- 地域医療が目指す姿の検討
- 障害者の相談や緊急時の対応などを行う地域生活拠点の設置 等



食文化・食産業創造

- 農業の人材の育成・確保を進めるなど、「農」と「食」の連携を強化
- 料理人の育成と料理に携わる地域内外の人材の交流を促進 等



産業強化イノベーション

- 先端研究産業支援センターの拡張
- 企業の新規立地や設備投資への支援と、新たな産業集積用地の整備に向けた基本計画の策定 等



輝く女性活躍推進

- 仕事と家庭生活の両立や男女共に能力を一層発揮できるようにするための研修等の実施
- 鶴岡市男女共同参画計画第2次計画の策定 等



地域国際化SDGs推進

- SDGs(持続可能な開発目標)への市民理解に向けた体験事業等の実施
- 自然学習交流館「ほとりあ」を拠点とした自然学習プログラムの実施
- 外国人材の受け入れや外国人居住者の支援を強化 等



城下町つるおか リブランディング

- 鶴岡駅前地区全体の将来構想や歴史文化資源の継承を検討
- 酒井家庄内入部400年記念事業の全体計画策定 等

未来創造の プロジェクト

令和2年度の当初予算総額

1,393億3,452万4千円

 (対前年度比 -0.2%)

一般会計 740億8,400万円

 (対前年度比 +1.4%)

福祉、医療、教育、道路の整備など基礎的な行政サービスを行うための会計です。

特別会計 308億4,461万7千円

 (対前年度比 -1.3%)

特定の事業を特定の収入で賄う会計です。収支を明確にするために、一般会計から独立しています。

会計別の予算額は右の表のとおりです。

名称	予算額	対前年度比
国民健康保険特別会計	124億7,840万9千円	-1.7%
後期高齢者医療保険特別会計	16億4,937万4千円	+6.1%
介護保険特別会計	166億3,972万円	-1.8%
休日夜間診療所特別会計	6,958万8千円	+1.9%
墓園事業特別会計	752万6千円	+0.9%

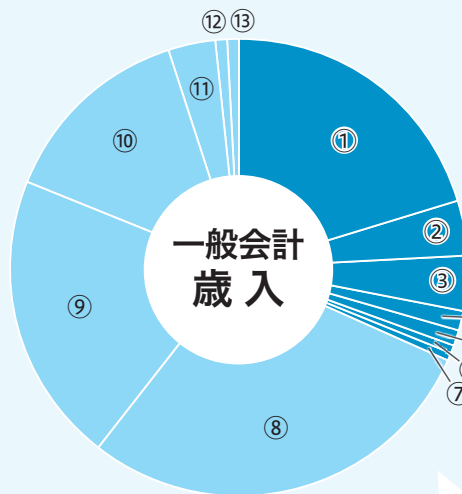
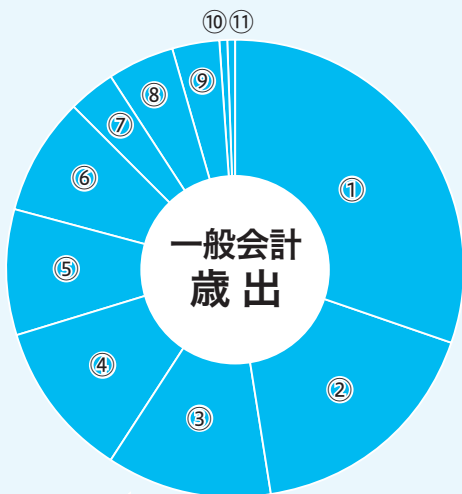
企業会計 344億590万7千円

 (対前年度比 -2.5%)

民間企業と同様に、事業の収益によって運営している会計です。地方公共団体が経営する企業を地方公営企業と言います。

会計別の予算額は右の表のとおりです。

名称	予算額	対前年度比
病院事業会計	162億9,362万円	-5.6%
水道事業会計	50億1,956万8千円	-1.2%
下水道事業会計	130億9,271万9千円	+1.1%



一般会計予算の内訳
 歳入は市税や施設の整備に係る市債で増となりました。歳出では人件費、扶助費、公債の義務的経費が44・0%で前年度から0・5%の減となりました。

総額 740億8,400万円

①民生費	213億9,180万9千円	(28.9%)
②衛生費	142億3,495万1千円	(19.2%)
③総務費	87億9,519万9千円	(11.9%)
④公債費	75億9,694万9千円	(10.3%)
⑤教育費	60億5,975万円	(8.2%)
⑥土木費	55億9,290万4千円	(7.5%)
⑦農林水産業費	39億5,644万9千円	(5.3%)
⑧商工費	33億7,899万5千円	(4.6%)
⑨消防費	23億3,394万2千円	(3.1%)
⑩議会費	3億9,109万1千円	(0.5%)
⑪その他	3億5,196万1千円	(0.5%)

総額 740億8,400万円

①市税	157億14万3千円	(21.2%)
②諸収入	25億5,308万6千円	(3.4%)
③繰入金	23億7,612万6千円	(3.2%)
④使用料・手数料	9億5,611万8千円	(1.3%)
⑤寄附金	7億4,507万3千円	(1.0%)
⑥分担金・負担金	5億7,093万8千円	(0.8%)
⑦その他(自主財源)	3億8,056万6千円	(0.5%)
⑧地方交付税	205億8,090万9千円	(27.8%)
⑨国・県支出金	155億4,250万5千円	(21.0%)
⑩市債	108億670万円	(14.6%)
⑪地方消費税交付金	29億2,194万円	(4.0%)
⑫地方譲与税	6億1,968万8千円	(0.8%)
⑬その他(依存財源)	3億3,020万8千円	(0.4%)

自主財源 (31.4%)
 市税など、市が自主的に調達できる収入

依存財源 (68.6%)
 地方交付税など、国や県から定められた額を交付または割り当てされる収入

☆財政状況は、市HPで公開しています。

鶴岡市 財政状況

検索

「第2次鶴岡市総合計画」 施策の大綱別に見る 令和2年度 主要事業

「ほんとうの豊かさを追求する みんなが暮らしやすい 創造と伝統のまち 鶴岡」を目指す都市像として、恵まれた資源・特性を生かし、まちづくりを推進します。本市の最重要課題である少子化・人口減少に立ち向かいながら、鶴岡市がもっと暮らしやすい魅力あふれるまちになるよう力を入れて取り組みます。



暮らしと防災

安全で安心して暮らせる地域コミュニティの構築

ごみ焼却施設と一般廃棄物最終処分場の整備 89億1,895万円

- 新たなごみ焼却施設の建設工事
- 新たな一般廃棄物最終処分場の令和3年度中の完成に向けた建設工事と浸出水の下水道接続のための排水管整備



コミュニティセンターの整備 2億7,972万円

- 小堅コミュニティセンターの移転改築工事、加茂コミュニティセンターの移転改築実施設計、地質調査

防災力の強化

1,082万円

- 防災資機材を整備し災害発生時の避難所の機能を強化
- 浸水区域内での避難方法等に関する情報を住民に分かりやすく提供するため、避難地図（洪水災害ハザードマップ）を作成

福祉と医療

生涯を通じて安心して健やかに暮らすことができる社会の形成

子供を産み育てやすい環境の充実 8億2,391万円

- 国の施策に基づく幼児教育・保育の無償化
- 病児保育のニーズに対応するため新たに2施設で開始
- 中学生以下の医療費、第3子以降の小・中学生の給食費の無償化

高齢者への支援体制強化 9,336万円

- 住民主体の介護予防活動の場づくりへの支援と介護予防講座の開催
- 鶴岡地区医師会や荘内病院等と一体的に、切れ目のない在宅医療と介護の提供体制を構築
- 各地域包括支援センターごとに生活支援コーディネーターを継続配置
- 高齢者に対するケアマネジメントの普及と地域課題の発見、ニーズの集積を図るための地域ケア会議の開催

障害者を支える支援体制の整備 628万円

- 関係機関等のネットワークを活性化し障害者の自立を支援
- 在宅身障害者が作業所等への通所に要する交通費を助成

荘内病院の医療提供体制の充実、地域医療の検討 6億1,933万円

- 地域医療の現状を知るための市民公開講座を開催
- 診療体制の強化を図るため臨床研修医の受入れ体制を強化
- 高度医療機器等の整備による地域基幹病院としての医療機能充実
- 災害拠点病院の機能強化のため、病院の機能維持に必要な飲料水を3日分確保するための設備を設置

学びと交流

いのち輝く人を育て、歴史や文化でつながる交流の拡大

教育相談・特別支援教育体制の強化 1億1,726万円

- 部活動の質的向上を図るため部活動指導員を配置
- 小学校での英語教育を行う外国語サポーターの配置
- 配慮が必要な児童・生徒に対して、個に応じた学習活動等を支援する学校教育支援員の配置

酒井家庄内入部400年記念に向けた取り組み 1,629万円

- 令和4年度の入部400年に向け、事業計画の検討や未指定文化財の文化財指定に向けた調査、マスメディアを活用した総合プロモーションなどを実施

松ヶ岡開墾場蚕室内部のリニューアル 1,860万円

- 日本遺産「サムライゆかりのシルク」の充実に向けた組織作りとブランド力の強化。日本遺産インフォメーションセンター（新徴屋敷）の管理・活用への支援。4番蚕室リニューアルのための実施設計



農・林・水産業

豊かな食文化を支える農林水産業の生産拡大と所得向上の実現



農業人材の育成・確保

1億2,969万円

- 農業経営者育成学校「SEADS」を活用し、域外からの新規参入者を確保
- 就農意欲の喚起や就農後の定着を図るため、新規就農アドバイザーの現地指導や補助金、奨学金などによる地元を含む新規就農者への支援の充実

森林環境譲与税を活用した森林づくり

6,440万円

- 「市主体の新たな森林管理システム」を推進するための林道災害予防・改良事業の実施

産出額拡大に向けた園芸作物の生産拡大

1億3,537万円



- 重点園芸作物の大規模園芸団地化計画に基づく産地形成を図るため、関係団体と協調した市の助成や県の支援事業への上乗せ助成で施設整備等を支援



水産業の振興

6,647万円

- 漁業担い手の育成や確保のため、独立経営希望者に対し、漁船取得や資材購入の際の借入れ利子分に補助
- 庄内浜ブランド創出協議会が行う庄内浜産水産物のブランド化・付加価値向上の取り組みを支援

商工と観光

力強い産業の振興と国内外との交流の活発化

企業立地の促進

7億3,705万円



- 企業の立地誘導や設備投資を促進するため、市内への本社機能の移転、支店等の開設などに対して支援
- 鶴岡地区農村地域産業導入実施計画及び新産業集積用地整備基本計画の策定



若者の地元回帰促進

851万円

- 地域外学生の就職活動経費を支援する市内中小企業に対する助成や、インターンシップ対策に重点を置いたセミナーの開催

先端研究産業支援センターの拡張

5,170万円



- 現在満室状態である同センターの新棟建設に向けた実施設計

鶴岡ならではの観光の振興

8,403万円



- DEGAM鶴岡ツーリズムビューローが行う観光マーケティング調査等の取り組みを支援
- 外国語パンフレットの充実や認定外国人観光案内所の運営など、インバウンド向けの情報発信を強化

社会の基盤

市域内外の交流を促進し安全で快適に暮らせるまちの整備促進

歴史・伝統・文化を大切に誇りの持てるまちづくり

1億379万円



- 城下のまち鶴岡将来構想策定委員会（仮称）を設置
- 歴史的風致形成建造物の改修支援や、鶴岡公園内堀周辺道路の改良、同公園正面広場の整備を行うなど、「鶴岡市歴史的風致維持向上計画」の事業を計画的に実施



交通輸送対策の推進

2億420万円

- 民間路線バス、藤島地域のデマンド交通、西郷地区のボランティア輸送、羽黒及び朝日地域の市営バスの運行や、路線バス運行事業者の車両更新経費への支援

道路や公園等の整備・長寿命化

11億5,194万円

- 老朽化した橋りょうの補修や付け替え等を実施
- 山王町本町線の一方通行解除に向けた街路整備
- 公園のトイレ改修や老朽施設の修繕・更新

地域の振興

地域の特性や資源を生かし市民が安心して暮らせる地域づくりの推進

■地域まちづくり未来事業計画に基づく取り組み■

鶴岡地域 3,181万円

- 広域的なコミュニティ組織が実施する活力あふれるまちづくりに向けた取り組みを支援

藤島地域 1,551万円

- 環境に配慮した農業技術の習得や販路拡大への支援
- 藤島歴史公園「Hisu花」を交流拠点とする地域づくり

羽黒地域 6,848万円

- 門前町・手向地区のまちなみ景観整備の推進
- 羽黒山随神門前周辺をポケットパークとして整備

櫛引地域 2,321万円

- 丸岡城跡史跡公園の駐車場整備
- 黒川能に関する映像、音源のデジタル化

朝日地域 5,374万円

- 湯殿山スキー場のリフト修繕
- 朝日地域夏季観光バスの運行

温海地域 3,871万円

- 乗り合いタクシーの試験運行
- 自然資源を生かした保育環境整備による定住促進